



年頭のごあいさつ

会長 加藤 宣明

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

このところ、緩やかではあるものの景気は回復基調にあり、今年は景況感にさらに力強さが増すよう期待されるところです。一方で、企業等の生産活動における人手不足は大変顕著であり、有為な人材を確保し、いかに人材を育成するのかが企業等の大きな課題と言えます。その意味でも、働く人たちの職業能力の開発、向上を担う当協会の役割はますます高まっており、今年一年しっかりと諸事業を推進し、その使命を果たしてまいります。

昨年は、11月に新しい外国人技能実習制度がスタートしたことによる技能検定の受検者数の増加や、後期技能検定試験から若年者向けに受検料減額が開始されるなど、当協会の基幹事業である技能検定に大きな変化がありました。これらの制度改変への確に対応し、安定的かつ有効的に検定制度を運営してまいります。

さて、昨年開催された技能五輪における愛知県選手の活躍は目覚ましく、10月にアラブ首長国連邦のアブダビで開催された第44回技能五輪国際大会で、日本選手団が獲得した金メダル3職種のうち2職種を獲得されました。さらに11月に栃木県で開催された第55回技能五輪全国大会では、13年連続で最優秀技能選手団賞を受賞しました。明日の愛知のものづくりを担う若き技能者の奮闘ぶりに感動し、その活躍を大変心強く思いました。

愛知県では、2019年度と2020年度に技能五輪全国大会を2年連続して開催することが決定し、さらには国が2023年の技能五輪国際大会を日本・愛知に招致する方針を決定するなど、若手技能者が輝く舞台づくりが進み、技能の向上、そしてさらなるものづくりの発展に追い風が吹き始めています。

今年も、当協会は技能検定試験に加え、監督者訓練を始めとした企業の人材育成の取組への支援、若年技能者等への技能伝承や、次代の愛知を担う子どもたちのものづくりへの興味を高める取組などを引き続き積極的に進めてまいります。

皆様にも引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、関係者の皆様の更なるご活躍、ご発展を心より祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。